

# 東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第531号 2022. 1/5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321  
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324  
発行人 八尋 一恭

目 次	
2022年 年頭ご挨拶..... 1	空飛ぶクルマ..... 5
連合会会長 新年のご挨拶..... 2	年賀広告..... 7
事務局レポート..... 3	

## 2022年 年頭ご挨拶



一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
会長 大野 泰 昭

新年あけましておめでとうございます。皆様には謹んで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は会員の皆様はじめ関係官庁業界団体さらに多くの皆様には、格別なるご支援を賜り誠にありがとうございました。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

関東経済産業局様には、産業部担当次長久世尚史様はじめ職員の皆様は常日頃から、あたたかいご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

当工業協会の重点事業である能力開発・技術向上の推進におきましては、コロナ禍で感染を防ぎながら対策をとり、使用機械を半分、受験生も半

分にして開催しましたため、令和3年度とコロナ前の令和元年度を比べると、技能検定の受験申請も技能士合格者も減少しました（令和2年度は射出検定自体が中止となっています）。東日本プラスチック製品協同組合（嶋田理事長）におきましては、会員の皆様への様々な物品斡旋事業を実施してまいりました。

上場企業の決算発表が11月に約700社に達しピークを迎えました。3月期決算の企業で業績回復が勢いづいており、2022年3月期通期に前期比で最終増益を見込む企業の比率は約7割と8年ぶりの高水準になるそうです。原料高の価格転嫁が進み、鉄鋼や化学などの採算が改善し、需給逼迫で海運も好調だそうです。新型コロナウイルス前の水準への利益回復が進み、5割以上の企業が19年3月期を上回るとの事。業績の持ち直しが鮮明なのが製造業だそうです。製造業17業種中のうち、「医薬品」を除く16業種が増益または黒字転換を見込んでいます。出遅れていた非製造業も回復のピッチが上がってきたそうです。

お話が変わりますが、「日本企業よ、ダイナミックであれ」という題名で新聞に出ていました。「日本の株価は欧米の後追いであれかつ冴えない。欧

米が史上最高値を更新しているのに、日経平均株価はようやく新型コロナウイルス後の高値を目指している。東アジアの中でさえ時価総額の上位から日本企業の名が消えつつあるといわれている。さらに気になるのが、為替レートである。円の実力は今より円高だと言われているのに実際の円は高くない。世界の中で日本の輝きがうせているのだろう。何が問題なのかここでは3点を指摘したい。

第一に、日本企業の行儀が良すぎ、逆に大胆さが消えた。行動力がないとも言える。例えば誰かが新規事業を立案すると、あらゆる角度からリスクが指摘されるため、それへの対応の検討だけで時間が延々流れる。これでは海外企業に先行されてしまう。本来事業活動はリスクである。リスクを覚悟して事業を行うから利益が出る。後は計画に狂いが生じた場合の逃げ道を想定しておけばいい。

第二に、過去へのこだわりが強すぎる。既存事業にもリスクがある。新規事業の全リスクを指摘するだけの暇があるなら、既存事業の主要リスクの点検が先決である。もし利益との対比でリスクが過大なら早急にその事業から撤退すべきである。

第三に、国内事業の比率が依然高い。国内を下げ海外にもっと注力すべきである。海外展開に多くの制約があるのも確かながら、それを打開するために若い力を活用すべきであり、信頼できる海外でのパートナーを常日ごろから探しておくべきである。

お気づきだろうが、三つは同根である。事業活動それ自身がリスクなのだから、現時点の事業が直面している大きなリスクとその変化に目配りしつつ、同時に新たなチャンスを見現化することで、リスクと利益の最適化を実現する。このダイナミズムを取り戻すことが今の、日本企業に強く求められる。』と記者は結んでいます。私も既存事業は安心して新規事業はリスクがあると思いがちです。既存事業に安住せず、早く新規事業を軌道に乗せることと、海外に販売をしていくことの大切さを改めて学びました。我々プラスチック業界も製造業の一員として、誇りをもってみんなで力を合わせて頑張っていこうではありませんか。令和四年が業界にとりまして良い年になることを信じて事業経営に邁進していきたいと思えます。これで新年の挨拶に代えさせていただきます。

## 新年のご挨拶

— 時を超え・更なる飛躍 —



全日本プラスチック製品工業連合会  
会長 加藤 豊

新年あけましておめでとう御座います。

会員企業並びに関係企業、諸団体様に於かれましては穏やかな新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。又、日頃より全日本プラスチック製品工業連合会に対してご理解、ご支援を賜り御礼申し上げます。

今年も更なるご協力を賜りたく、お願い申し上げます。さて昨年を振り返ってみますと大変な環

境下であったと思います。コロナ禍の中、開催されたオリンピックは殆どの競技場が無観客にて開催され、自粛時でもあり、テレビ観戦での応援でしたので、今一つ盛り上げに欠けた事と思います。又、連合会に於いても対面会議、会合等がコロナの感染対策を含め開催出来ない状態であり、ご迷惑をお掛けした事と思います。新型コロナウイルスは収束の兆しもなく、世界的に猛威を振るい、日本経済に於いても大きな打撃を受けました。輸出入関係に大きな影響が発生し、緊急事態宣言の長期化により我々業界に於いても生産の減少、雇用問題、原油価額の値上げに絡み材料費等の高騰、物価の値上げ等、厳しい環境下に置かれました。

政治面に於きましては米国では共和党のトランプ大統領から民主党のバイデン大統領へと変わり、国内に於いては菅内閣から岸田内閣へと変わり、時代の流れとは言え、今後どの様に変化して

いくのか、世界経済の安定を願い、更なる飛躍する事を我々としては期待するところでもあります。これからモノづくり産業は世界的に問題視されている環境問題、資源環境の促進を真剣に考え、取り組む事が必要だと思います。世界各国が取り組んでいるCO<sub>2</sub>削減、環境にやさしいモノづくりを旗印に海洋プラスチックごみの撲滅。日用品等の非プラスチック化、代替プラスチックとしてバイオプラスチックへの用途転換、更には、特に脱炭素を目的とし自動車のEV化、2030年を目安に各自動車メーカーが競って開発を進めております。EV車となれば現在使用されている部品が全体で30%減となり、我々部品の製造メーカーとしては生産減、雇用問題にも大いに影響しかねない状況下になるのではと思う次第です。新型コロナウイルスはまだ収束の兆しなく、それど

ころか南アフリカに於いて新しい変異株（オミクロン株）が発生し、ヨーロッパを中心に感染拡大しつつあります。当初発生時からコロナウイルスが変異し続け、昨年初め頃にはインドで発生したデルタ株が猛威を振るい、緊急事態に追いやられた経緯もあります。オミクロン株はどの様に影響をもたらすかは分かりませんが、今年もWithコロナの時代となりそうです。我々としてはモノづくり、働き方を根本的に考えて行動せざるを得ない時期と思います。業界も大きく変化する時代、特に世界的環境問題に対してモノづくりの変化、これからの時代は厳しい環境下に置かれてくると思われませんが我々は先々のモノづくりを視野に入れ、原点に立ち、会員皆様方の企業が更なる飛躍していく年であることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。

## 事務局レポート

### ■事務局からのお知らせとお願い

国内で最初の新型コロナウイルス感染症の患者が確認されてから、二年が過ぎようとしています。最近では新規感染者の数は減少傾向にありますが、新たな変異株（オミクロン株）の出現も見られるなど、まだまだ油断はできない状況が続いています。これまでに多くの方の生命が奪われた上、私たちの日常生活にも大きな支障が生じました。当工業協会のイベントも中止や縮小を迫られるなど皆様にはご迷惑をおかけしてまいりました。ただこうした時期だからこそ会員の皆様安心して事業を推進していただけるよう協会としてできることから少しずつ実行していこうと考えております。コロナ禍の中でこれまで行ってきました取り組みや今後新たに取り組もうとしていることをご紹介します。また、ほかのことでも何かお困りのことがございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

### 1. Zoomの導入

令和3年の新年ご挨拶会でも利用いたしましたが、当工業協会でもオンライン会議ツールの「Zoom」を導入いたしております。すでに理事会や一部の部会等で使用しております。新型コロナウイルス感染症のリスクがまだ残る中で、当面このツールを利用して、会議やセミナーに利用していきたいと考えております。操作方法も簡単ですので、初めてご参加される方も比較的簡単にご利用できます。部会や支部会でZoomをご利用になりたい場合は、いつでも事務局までお申し付けください。

(Zoomの利用の仕方)

- ① 参加者からメールアドレスを事務局にお知らせいただきます。
- ② 事務局から参加される方に招待メールを送ります。
- ③ 受け取られた方は、会議の始まる少し前に、メールに書き込まれている招待URLとい

う表示部分をクリックします。

- ④ これでオンライン会議に参加いただけます。手順等でご不明な点があれば事務局までご連絡ください。

## 2. 会員企業様のオンラインセミナーのご案内

新型コロナウイルス感染症禍の中で、従来の展示会や製品・商品発表会等に代えてオンラインでのセミナー等を企画される企業の方も多いことかと思えます。そのため、当面の間、会員企業の皆様でオンラインセミナーを開催される企業がございましたら、「事務局レポート」の中で、ご紹介をさせていただこうと思えます。紙面の都合もありますので、簡単なご紹介となつてはしまいますが、よろしかったら以下の要領でご登録ください。

(ご登録内容)

- ①会社名②セミナー名③開催日時④開催内容⑤開催方法⑥ご担当者様および連絡先

※ APM ニュースは隔月の発行ですので、なるべく早めにご登録いただければ幸いです。

また、会員様で自社のオンラインセミナーの開催にあたり、当工業協会の協賛をご希望される場合がありますら、お気軽に事務局にご相談ください。

当工業協会には新たな技術等を学んでいくことを目途とする「製品技術部会」という部会を持っています。こちらで例年、工場見学や勉強会を開催しております。今後コロナの収束状況を見ながら活動を再開してまいります。Zoom を利用したオンラインセミナーはコロナ禍の中でも行ってまいりました。今後も当面こうしたオンラインセミナーは続けていきたいと考えています。

## 3. 会員情報のご案内

会員の皆様からの情報や会員の皆様役に役立つと思われる情報を掲載いたします。

### (1) 新規会員のご紹介

新たに入会された会員企業のご紹介をいたします。

### (2) 会員トピックスのご紹介

会員企業で社会貢献されるなど話題となった記事を掲載いたします。

### (3) 情報交換コーナー

何か会員の皆様を通じてお知りになりたい情報がありましたら、お知らせください。このコーナーでご紹介させていただきます。

- ①こうした従業員（オペレーター、検査工程担当者、工場長など）を探しています。  
②このような機械を買い取ってくれる会社を探しています。  
③お客様からこのような仕事を頼まれたけれど、自社では対応できないので代わりに対応してほしい。  
・・・などのいろいろなご相談がありましたら紹介させていただきます（匿名で掲載することもできます）。

## 4. 協同組合のご利用

当工業協会では共済事業の推進にあたり協同組合（東日本プラスチック製品工業協同組合）を持っております。年賀のご挨拶用のタオルや作業服・作業靴をはじめとした物品の販売や高速道路のETC割引制度やPL団体保険など、いろいろとお得な商品や制度を取り揃えています。会社の周年行事にあたって何かお配りになりたいなどのニーズがありましたら、事務局までご相談ください。

## 5. APM ニュースのご活用

APM ニュースは会員の皆様他に関係先の多くの方にお配りしております。有効な広告媒体となりますので、暑中広告や年賀広告以外にも会員の皆様のセールスの場としてご活用ください。展示会のご案内などのチラシの封入なども承っています。

# 空飛ぶクルマ

自動運転技術の進展により「陸」における移動革命が始まったが、「空」の移動革命に向けた取組も着実に前進している。すなわちeVTOL、いわゆる「空飛ぶクルマ」の開発が進んでいる。

## 1. 空飛ぶクルマとは？

明確な定義はないが、一般的に「電動かつ自動で垂直に離着陸する移動手段」を指す場合が多い。垂直離着陸機は「VTOL」(Vertical Take-Off and Landing aircraft)、電動タイプは「eVTOL」と呼ばれる。無人で遠隔操作によって飛行できる航空機「ドローン」を乗車可能にしたものを指す場合もあれば、EV（電気自動車）ベースにプロペラや自動制御システムを備えたものを指す場合もある。また、地上を走行する機構と空を飛ぶための機構をそれぞれユニット化し、客室を各ユニットに寄せ替えることで陸路と空路、走行と飛行の両立を図るシステムも開発中である。

海外では「Skycar（スカイカー）」「Aircar（エアカー）」「Urban Air Mobility（アーバン・エア・モビリティ）」「Personal Air Vehicle（パーソナル・エア・ビークル）」「Flying cars（フライング・カーズ）」と呼ばれる。

## 2. 空飛ぶクルマの仕組みと種類

空飛ぶクルマは、翼を持つタイプかプロペラタイプか、エンジンを積んでいるのかモーター駆動なのか、タイヤで道路を走行できるかどうかなどによって分類できる。最も開発が進んでいるのは、ドローンをそのまま大きくして乗車可能にしたタイプである。仕組みも基本的にはドローンと同じで、電動で遠隔操作や移動を行う。

このドローンタイプにタイヤを搭載し、道路走行も可能にしたモデルも開発されている。タイヤとプロペラが独立しており、飛行時には折り畳み式のプロペラを展開するタイプや、タイヤのホイール部分にプロペラが内蔵され、飛行する場合はタイヤが横に開いてホイールが上向きになりプロペラを回すタイプがある。

また、翼を持つタイプはエンジンを搭載し、道路走行時は翼を格納するのが一般的であり、セスナ機のような小型飛行機に、翼格納機能を持たせた外観である。

## 3. 空飛ぶクルマの実現に必要なこと

### 3-1. 技術的な課題：安全性とエネルギーの両立がカギ

陸上の自動運転車やドローンに求められる以上に高次元の安全性が必須となる。常時通信機能はもちろん、空中こそ自動運転技術が必要となる。また万が一の際に落下などを防ぐバックアップ機能や着陸支援機能も求められる。電動タイプでは、バッテリー技術の向上は欠かせず、機体全体の軽量化に加え、軽く高容量の電池確保が重要となる。

### 3-2. 法整備：現在の航空法と別枠の新規制が必要

飛行機と異なり、はるか上空を飛ぶことはなく、低空飛行が中心となることから、用途や空域を制限するなどして、安全性を損なわずに航空機と住み分ける新たな枠組みが必要となる。

### 3-3. インフラ整備：航空管制に代るシステムの構築

場所を選ばず離発着可能な環境の構築は難しく、ヘリポートのような一定の離発着場が必要になる。また充電ステーションをはじめ、空中の障害物やビルなどの情報を受信するセンサー類など、管制塔の役割をセンサーやAI（人工知能）が自立して担うようなシステムも必要になる。さらに空飛ぶクルマの実用化が進むと、従来の飛行機などに比べ無数の機体が空中を飛び交うことになり、衝突の危険性が高まる。さまざまな飛行ルートを網羅した空中道路の整備と「エアマップ」が必要となる。

## 4. 空飛ぶクルマで実現できること

### 4-1. スマートな移動の実現

現状の陸・海・空の交通の枠にとらわれない立体的な移動が可能となり、移動距離や所要時間を大幅に短縮することが可能になる。過密化が進む都市部での渋滞回避、現在交通手段が整備されていない地域・場所への迅速な移動、超高層ビルの屋上への直接移動なども可能となる。

### 4-2. 災害対応への活用

上記のごとき移動が可能となれば、事故・火災・自然災害での人命救助におおいに貢献する。

### 4-3. 物流への活用

空飛ぶクルマは一定程度の荷物を運ぶことができる。無人ドローンなどによる実証実験が進んでおり、離島・山間部などアクセスの悪い場所への効率的な宅配など、物流面では今後大きな発展が期待される。

### 4-4. 各種サービス事業への活用

測量、警備、農薬散布、害虫駆除、植物の生育状況把握、橋梁・プラント等構造物の点検、などにおいて従来のドローン以上の重量物運搬、機材投入に活用できる。

## 5. 空飛ぶクルマ実現に向けたロードマップ

経済産業省と国土交通省がとりまとめている「空の移動革命に向けた官民協議会」がロードマップを作成。

これによると、2023年には事業を開始し、2030年頃までに「物の移動」、「地方での人の移動」、「都市での人の移動」の順に事業領域を広げ、2030年以降は実用化の拡大フェーズに入るのが目標。

## 6. 国内における空飛ぶクルマの開発企業

2018年8月(株)SkyDriveが設立され、2019年12月国内初の有人飛行試験を開始、2023年販売を目標としている。2019年スカイリンク社は事業許可を取得、2025年の大阪万博出展を目指す。

## 7. 空飛ぶクルマの市場規模

国土交通省の「国土交通白書2020」やモルガンスタンレーの市場予測によると、空飛ぶクルマの市場規模は2040年までに160兆円になるとされている。

(案山子)

引用文献：

\* 下山哲平 空飛ぶクルマとは？いつから乗れる？必要な技術は？ 2021年10月14日



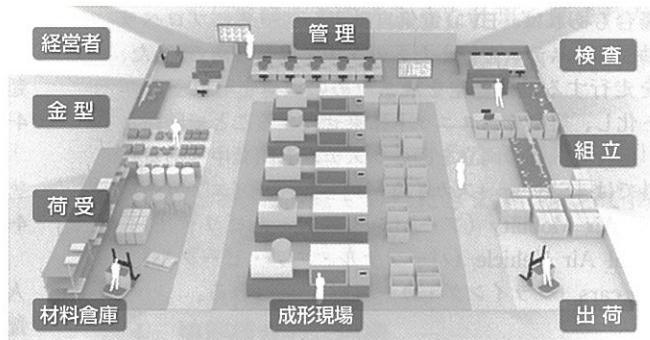
# 成形工場のIoT／生産管理はムラテックにお任せください!

成形業統合生産管理システム

## GMICS

- 成形業の必要項目を網羅したマスタ情報
- 材料価格変動時の単価一括更新
- 分かり易い組付品構成(多段階部品構成)
- EDIデータ(内示、受注)の取込み
- 工場の運用に合わせた在庫管理
- 担当者が確認すべき手配を案内(MRP/所要量計算)
- 成形スケジュールと現場監視
- ロットトレース機能

成形業に特化したMES機能を含む統合生産管理システム

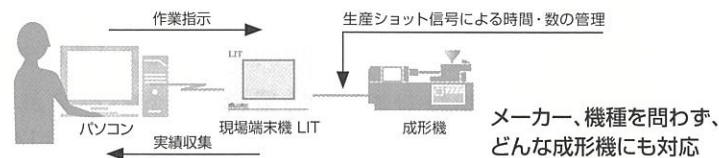
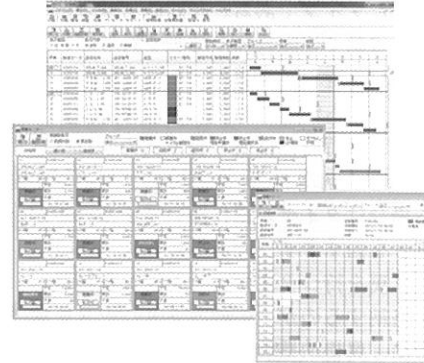


成形工場生産管理システム

## MICS7

- 最適スケジュール作成
- 稼働状況監視
- 実績管理
- オンラインによるリアルタイムな作業指示
- 正確なデータの自動収集
- 保守(金型・成形機)管理

成形現場の「見える化」と効率アップをサポートする生産管理システム



メーカー、機種を問わず、どんな成形機にも対応

### ミドルウェア

フォーマットの共通化システムオープン化

### 生産管理システム

品質監視システム

金型用センサー

西日本プラスチック製品工業協会および近畿経済産業局と協同で、成形機のデータフォーマットを共通化しデータを統合するシステム「Middleware (ミドルウェア)」の開発を行いました。Middleware と弊社システム製品とのデータ連携強化の取り組みを通じて、プラスチック成形業におけるIoT導入拡大に取り組んでまいります。

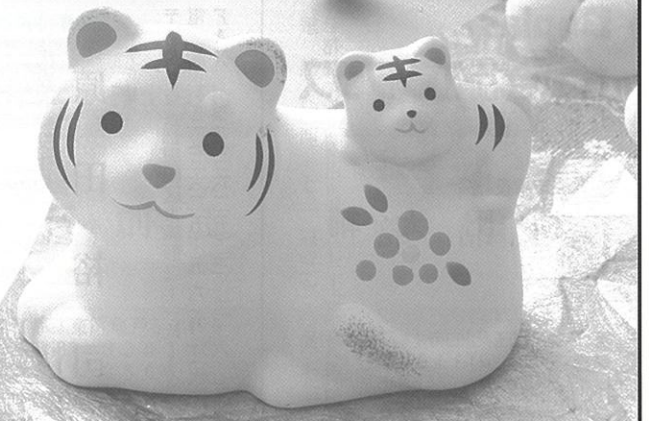
村田機械株式会社

ムラテック販売株式会社 ファクトリーソリューション営業部

<https://www.muratec.jp/fs/>

- 東日本支店 / 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802 TEL 048(649)6139 FAX 048(647)9446
- 中部支店 / 愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502 TEL 0568(63)2311 FAX 0568(63)5779
- 西日本支店 / 京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686 TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8390

年頭にあたり謹んで皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます

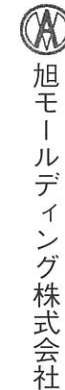


令和四年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

電話 千16-002  
〇三(五八五五)三五六〇

代表取締役  
福田晴通



浅間合成株式会社

代表取締役  
嶋田修二

本社工場  
〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1  
TEL (0555)73-2831  
FAX (0555)73-2832  
<http://www.asama-gosei.jp/>  
P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp



明日の情報システムを想像する ASCOT

株式会社 アスコット

代表取締役社長  
林政男

本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10  
大手町フタバビル6F  
TEL (06) 6944-9211 FAX (06) 6944-3233  
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5  
秀和御徒町ビル5F  
TEL (03) 6870-2250 FAX (03) 6870-2253

株式会社 アフター

代表取締役社長  
実方京一郎

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-3-11  
パナシオン恵比寿504  
TEL:03(6303)3748 FAX:03(6303)3746  
URL:<http://www.aftr.co.jp>  
E-mail:info@aftr.co.jp

電話 千16-002  
〇三(三八九二)五七二一(代)

代表取締役  
小菅恵美子



本社  
電話 千23-001  
〇四(八五〇)一七(代)

代表取締役社長  
佐藤義明

積み重ねた歴史・最新の技術  
株式会社 イガランコーカ

株式会社 石黒製作所

代表取締役社長  
大野泰昭

〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9  
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712  
URL:<http://www.pla-part.com/>

株式会社 植田電器製作所

代表取締役  
植田好司

本社 〒114-0012  
東京都北区田端新町2-28-13  
電話 03(3893)3376  
〒349-0203  
白岡工場 埼玉県白岡市下大崎871  
電話 0480(92)8484

本社  
電話 千13-006  
〇三(三六七九)一〇九(代)

代表取締役社長  
野邊弘一郎

エンゼル産業株式会社

令和四年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p><b>株式会社エンプラス</b></p> <p>代表取締役社長 <b>横田 大輔</b></p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048 (253) 3 1 3 1 (代) https://www.enplas.co.jp</p>	 <p><b>大塚産業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>原田 裕司</b></p> <p>〒138-0005 東京都墨田区東駒形二丁目一八一-二 電話 03 (326) 2 5 5 6 (代) FAX 03 (326) 2 5 3 1 (代) 電話 03 (326) 2 5 3 1 (代)</p>	 <p><b>かみむら化学株式会社</b> KAMIMURA CHEMICAL Co., Ltd.</p> <p>代表取締役社長 <b>上村 俊彦</b></p> <p>URL: http://kamimura-kagaku.com. 〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2 Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315 本社工場 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1 Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009</p>
 <p><b>株式会社カワタ</b></p> <p>代表取締役社長 <b>白石 互</b></p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川1-2-10 新川むさしやビル4階 TEL 03-3523-5680 FAX 03-3523-5682</p>	 <p><b>工藤プラスチック工業株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>工藤 哲夫</b></p> <p>〒174-0005 東京都板橋区若木三丁目一五-一三 電話 03 (339) 3 2 1 1 (代) FAX 03 (339) 3 2 1 1 (代)</p>	<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売</p>  <p><b>神戸合成株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>宮岡 督修</b></p> <p>本社: 兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771 (代) FAX: (0794) 64-7772 URL: http://www.kobe-gosei.co.jp</p> 
 <p><b>株式会社 小松川プラスチック</b></p> <p>代表取締役社長 <b>伊東 義也</b></p> <p>〒100-0041 東京都千代田区神田和泉町一丁目三十三 電話 03 (588) 2 9 5 9 (代) FAX 03 (588) 2 9 5 9 (代) 鈴木ビル2F 電話 03 (588) 2 9 5 9 (代) FAX 03 (588) 2 9 5 9 (代)</p>	<p>会長 <b>平田 照雅</b></p> <p><b>埼玉県プラスチック振興会</b></p> <p>〒309-0848 埼玉県川口市上青木三丁目一十八 電話 048 (226) 1 7 1 5 (代) FAX 048 (226) 1 7 1 5 (代)</p>	 <p><b>株式会社 サトーボーサー</b></p> <p>代表取締役社長 <b>佐藤 昭</b></p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3959-5481 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>
 <p><b>株式会社 三光社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>平塚 隆文</b></p> <p>本社 〒118-0002 東京都台東区柳橋一丁目九十三 電話 03 (386) 3 3 5 4 (代) FAX 03 (386) 3 3 5 4 (代) 電話 03 (386) 3 3 5 4 (代) FAX 03 (386) 3 3 5 4 (代)</p>	 <p><b>三省物産株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>高階 達也</b></p> <p>〒100-8309 東京都中央区日本橋二丁目三番一三 電話 03 (327) 0 5 7 2 (代) FAX 03 (327) 0 5 7 2 (代)</p>	 <p><b>Shibaura Machine 芝浦機械株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 最高経営責任者 最高執行責任者 社長執行役員 <b>坂元 繁友</b></p> <p>〒100-8503 千代田区内幸町2丁目2番2号 富国生命ビル4F TEL : 03-3509-0200 FAX : 03-3509-0333</p>

令和四年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p><b>城東リプロン株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>横江 政洋</b></p> <p>本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番4号 TEL 03-5833-8510 (代) FAX 03-3863-8116 http://www.lyprone.com</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p>  <p><b>白石工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>白石 創士</b></p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301 (代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>	 <p><b>株式会社 新上</b></p> <p>取締役会長 <b>曾我 部</b></p> <p>代表取締役 <b>曾我 部</b></p> <p>専務取締役 <b>曾我 部</b></p> <p>電話 047-711-3331 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目1番1号 電話 047-711-3331 FAX 047-711-3331</p>
 <p><b>株式会社 CDエナジーダイレクト</b></p> <p>代表取締役社長 <b>山東 要</b></p> <p>〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-5-1 さくら室町ビル11F TEL: 03-6281-9583 FAX: 03-6281-9586 ホームページ: https://www.cdedirect.co.jp</p>	 <p><b>セーチヨー工業株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>生倉 茂</b></p> <p>〒252-0003 神奈川県相模原市緑区橋本六丁目一五-一〇 電話 042 (777) 4 1 1 1 (代) FAX 042 (777) 4 1 1 1 (代) 中屋第2ビル2F 電話 042 (777) 4 1 1 1 (代) FAX 042 (777) 4 1 1 1 (代)</p>	 <p><b>株式会社ソディック</b></p> <p>代表取締役社長 <b>古川 健一</b></p> <p>〒224-8522 横浜市中区仲台3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL : www.sodick.co.jp</p>
<p>代表取締役 <b>袁 輪透</b></p> <p><b>拓水工業株式会社</b></p> <p>〒131-0003 東京都江戸川区中葛西七丁目二六-一四 電話 03 (367) 5 1 1 1 (代) FAX 03 (367) 5 1 1 1 (代)</p>	 <p><b>株式会社 千葉工業所</b></p> <p>代表取締役 長島 勝敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 TEL 047-438-3411 (代) FAX 047-438-3413 e-mail: peels@chiba-ind.co.jp URL: http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p><b>TECHNO テクノ精工株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>野本 義三</b></p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒台495-5 TEL 04 (7155) 6055 FAX 04 (7155) 6662 http://www.technoiseiko.com/ E-mail: info@technoiseiko.com</p>
 <p><b>天昇電気工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>石川 忠彦</b></p> <p>〒194-0005 東京都町田市南町田5-3-65 天幸ビル17 TEL 042 (788) 1555 FAX 042 (796) 6333 https://www.tensho-plastic.co.jp</p>	<p>代表取締役 <b>内山 三男</b></p> <p><b>長野県プラスチック工業会</b></p> <p>〒200-0001 長野市大字中御所字岡田一丁目一〇 電話 026 (222) 2 6 1 1 (代) FAX 026 (222) 2 6 1 1 (代) 電話 026 (222) 2 6 1 1 (代) FAX 026 (222) 2 6 1 1 (代)</p>	 <p><b>株式会社 日豊化学</b></p> <p>専務取締役 <b>樋口 政章</b></p> <p>〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-12-1 日豊ビル TEL 03-6825-3081</p>

令和四年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p><b>日鋼YPK商事株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>菊川 健治</b></p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー24階 電話 03 (5745) 2131 FAX 03 (5745) 2160 支店：中部・関西 営業所：室蘭・仙台・長野・富山・ 岸和田・関西・広島・福岡 URL <a href="http://www.jswnks.co.jp/">http://www.jswnks.co.jp/</a></p>	<p> <b>株式会社 日新化成</b></p> <p>代表取締役 <b>早川 聖人</b></p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>役に立つ会社  <b>創立 1934年 (昭和9年)</b></p> <p><b>日本プラスチック工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>浅見 好邦</b></p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) <a href="http://www.nippla-web.co.jp">http://www.nippla-web.co.jp</a></p>
<p> <b>株式会社 日本油機</b></p> <p>代表取締役社長 <b>市川 博章</b></p> <p>〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2 TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683 info@nihon-yuki.co.jp <a href="http://www.nihon-yuki.co.jp">http://www.nihon-yuki.co.jp</a></p>	<p> <b>株式会社 HARMO</b></p> <p>代表取締役社長 <b>濱 秀明</b></p> <p>電話 026-555-0111 長野県上伊那郡南箕輪村四二二四一</p>	<p><b>福島県プラスチック工業会</b></p> <p>会長 <b>安斎 由二</b></p> <p>FAX 024-333-7501 電話 024-333-7501 福島県二本松市四丁二九壇三六一</p>
<p><b>古川化学工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>古川 雅一</b></p> <p>〒130-0024 東京都墨田区菊川二丁目十四番二号 電話 03 (3631) 6 6 5 5 番 03 (3634) 3551~3 番 FAX 03 (3634) 3 5 5 4 番</p>	<p> <b>株式会社 プラモール精工</b></p> <p>代表取締役社長 <b>脇山 高志</b></p> <p>〒981-3351 宮城県富谷市鷹乃杜 4 丁目3-5 TEL : 022-348-1250</p>	<p> <b>株式会社 フルプラ</b></p> <p>代表取締役社長 <b>古澤 正弘</b></p> <p>〒110-0016 東京都台東区台東3-11-6 TEL : 03-3834-0331 FAX : 03-3833-5591 URL : <a href="http://www.furupra.co.jp/">http://www.furupra.co.jp/</a></p>
<p>電話 03-379-0000 東京都大田区京浜島二二二一四</p> <p>代表取締役 <b>内藤 雅文</b></p> <p><b>平和工業株式会社</b></p>	<p>電話 06-678-0021 大阪府高井田本通り二二二一四</p> <p>代表取締役 <b>鈴木 雅之</b></p> <p> <b>株式会社 HOFAI</b> <b>ホーライ</b></p>	<p> <b>MATSUI®</b></p> <p><b>株式会社 松井製作所</b> 代表取締役社長 <b>松井 宏信</b></p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 URL <a href="http://matsui.net">http://matsui.net</a></p>

令和四年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p> <b>muratec</b></p> <p>常務取締役 <b>森脇 豊</b></p> <p><b>ムラテック販売株式会社</b></p> <p>本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 東日本支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>	<p>プラスチック成形用金型設計・製作 <b>明輝の金型</b></p> <p>株式会社 <b>明輝</b></p> <p>代表取締役社長 <b>黒柳 貴宏</b></p> <p>〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・ タイ・アメリカ</p>	<p> <b>山下電気株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>山下 慎一郎</b></p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: <a href="https://www.yamashita-denki.co.jp">https://www.yamashita-denki.co.jp</a></p>
<p> <b>PLASTICS WORLD YAMASO</b></p> <p><b>増田 英輔</b> 代表取締役社長</p> <p><b>山宗株式会社 関東事業部</b></p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 <a href="http://www.yamaso.co.jp/">http://www.yamaso.co.jp/</a></p>	<p> <b>YUSHIN</b></p> <p><b>株式会社 ユーシン精機</b></p> <p>代表取締役社長 <b>小谷 高代</b></p> <p>■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>	<p> <b>Leadence</b></p> <p><b>株式会社 リーデンス</b></p> <p>代表取締役社長 <b>肥後 武展</b></p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>
<p>東プラ健保は加入員の健康づくりを推進しています。</p> <p>電話 03-386-0000 東京都台東区柳橋一丁目一四(代)</p> <p>常務理事 <b>佐藤 栄一</b> 理事 <b>小林 達夫</b></p> <p> <b>東日本プラスチック健康保険組合</b></p>	<p>(一社)東日本プラスチック製品工業協会 <b>共済事業委員会</b></p> <p>~会員のお役に立つ事業を推進しています~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ETCカード事業</li> <li>○ガソリンカード事業</li> <li>○各種ユニフォーム、安全靴、タオル等管旋</li> <li>○PL保険、団体生命保険</li> <li>○プラスチック手帳、選別機、保存食ほか</li> </ul> <p>電話 03-3541-4321 事務局 八尋</p>	<p><b>東日本プラスチック製品工業協同組合</b> ~今後とも、会員企業のお役に立つよう 下記の事業に積極的に取組んでまいります~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種ユニフォーム・事務服等</li> <li>○ETCカード事業</li> <li>○ガソリンカード事業</li> <li>○PL保険、団体生命保険</li> <li>○タオル管旋、保存食、精米機他</li> <li>○除菌消臭スプレー</li> </ul> <p>上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。</p> <p><b>東日本プラスチック製品工業協同組合</b> 代表理事 <b>嶋田 修二</b> 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>
<p><b>全日本プラスチック製品工業連合会</b></p> <p>会長 <b>加藤 豊</b> 副会長 <b>大野 泰利</b> 副会長 <b>大下 俊彰</b> 副会長 <b>安八 藤尋</b> 専務理事 <b>八 藤 尋</b></p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL <a href="http://www.jpplf.gr.jp">http://www.jpplf.gr.jp</a></p>		

## 明けましておめでとうございます

### 難題打破 (HP に掲載)

日本初導入「スイスの BUSS コンペオ」特殊押出機

- バイオマスプラスチック・生分解性プラスチックを低温で昆練り加工できます。
- コンパウンド加工時に発熱でお困りの方はご相談ください。



## アルバファインテック株式会社

代表取締役 武田 久徳

#### 【本社工場】

〒300-2746

茨城県常総市鴻野山1765-1

電話 0297-30-5171

FAX 0297-30-5173

URL <http://alba-ft.com/>

#### 【栃木工場】

〒329-0524

栃木県河内郡上三川町多功2568-10

電話 0285-51-2311

FAX 0285-51-2312

## 謹 賀 新 年

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとってより良い年となりますことを祈念申し上げます。

当基金は、プラスチック製品の製造・加工業界で働く皆様の老後生活の充実を目的に設立された企業年金基金です。

退職給付制度の見直しをお考えの事業所様は、是非とも当基金へのご加入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

## トープラ企業年金基金

理事長 佐藤 義明

常務理事 江藤 清隆

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-5-13

東京ニットファッション健保会館 2階 TEL 03-5809-1581